

令和5年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 ブラジル solidario 横浜

1 事業の成果

令和5年度は、新たな取り組みとしてブラジルの国花であるイペーの木を運河パークに植樹することができ、横浜にブラジルゆかりの地を一つ増やすことができました。また6月18日の移民の日に、戦後の食料が乏しかった日本に日系移民の方々より食料を送っていただいたことに対して香淳皇后が感謝の気持ちを詠った、ララ物資の碑の前で法要を行いました。

一方、コロナが5類に移行したにもかかわらず、日系ブラジル人をはじめ外国籍労働者の生活状況は変わらず、食料支援を継続して実施してきました。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 海外日系人移住者との交流及び支援事業

ア フードバンク事業

- ・内容 横浜市内の子供食堂、平塚市や秦野市の外国籍の方々のコミュニティ、群馬県大泉町の外国籍困窮者シェルターなどへの食糧支援
- ・日時 令和5年4月～令和6年3月（各所月1回程度）
- ・場所 横浜市、神奈川県、群馬県大泉町
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 786人（195世帯）
- ・支出額 98,000円

イ 式典

- ・内容 ララ物資の碑の前で当時の日系の方々の日本への想いに感謝を込めて式典を実施
- ・日時 令和5年6月18日（日）15:00～16:00
- ・場所 みなとみらいハンマーヘッド ララ物資の碑
- ・従業者人員 7人
- ・受益対象者 7人
- ・支出額 0円

② 文化及びスポーツ交流事業

ア 日本ブラジル移民115周年記念 VIVA115 de Yokohama 開催

- ・内容 ブラジル移民115周年をお祝いする記念講演/トークイベント（セルジオ越後さんにご講演いただいた）と記念ステージショー
- ・日時 令和5年7月29日（土）10:00～12:00 記念講演/トークイベント、13:00～17:00 記念ステージショー
- ・場所 象の鼻パーク
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 250人

・支出額 304,247 円

イ 北仲キャナルパーク盆おどりでサンバ披露

- ・内 容 盆おどりの前座としてサンバショーを披露し、多くの地元の方々や子ども達と触れ合った
- ・日 時 令和5年8月26日(土) 18:30~19:00
- ・場 所 北仲キャナルパーク
- ・従事者人数 6 人
- ・受益対象者 350 人
- ・支出額 0 円

ウ 中山地区センター主催 多文化フェアに参加

- ・内 容 中山地区センターで開催された世界各国の音楽・ダンス・遊び・民族衣装などを披露するステージで日系ブラジル人ダンサーと一緒にサンバショーを行い、日本人だけではなく各国の方々と一緒にダンスを楽しんだ
- ・日 時 令和5年10月1日(日) 14:00~15:00
- ・場 所 中山地区センター
- ・従事者人数 35 人
- ・受益対象者 250 人
- ・支出額 15,000 円

③ 地球環境保全事業

ア イペーの木の植樹

- ・内 容 ブラジルの国花であり横浜大栈橋の床材として使われたイペーの木を社員の家庭で育て、横浜の地(運河パーク)に植樹した。当日は、ブラジル大使館、横浜市国際局長、横浜市港湾局長、JICA 横浜 所長、公益財団法人 横浜市国際交流協会 理事長、元 横浜市会議長、横浜市議員など多数の来賓が出席した。
- ・日 時 令和5年10月30日(月) 10:00~11:00
- ・場 所 横浜市みなとみらい 運河パーク
- ・従事者人員 8 人
- ・受益対象者 8 人
- ・支出額 0 円